

令和6年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	カーボンニュートラルを推進する内部循環流動床式の燃焼炉及びボイラ
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	ICFB®内部循環流動床ボイラ
会社名	荏原環境プラント株式会社
本社所在地	東京都大田区羽田旭町1 1 番 1 号
会社WEBページURL	https://www.eep.ebara.com/
製品紹介ページURL	https://www.eep.ebara.com/business_technology/technology_4.html

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	荏原環境プラント株式会社 営業本部/ソリューション開発部/ソリューション営業課/山内貴弘 携帯電話番号 090-4247-6358 メールアドレス yamauchi.takahiro@ebara.com
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業	F. 電気・ガス・熱供給・水道業	A. 農業、林業
導入対象となる分野・プロセス	本設備の導入対象となる分野プロセスは、製紙、窯業、化学等の「エネルギー多消費型産業」との非化石燃料への燃料転換市場に加えて、熱と電気を必要とする食品加工などの軽工業プロセスや農業分野などである。導入地域の周辺で持続可能に活用できる木質系バイオマスやRPF等の形状や発熱量が異なる多種多様な非化石燃料をその地域で有効利用する中小規模の地産地消型熱供給発電プロセスである。		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）		1,566.0	kl/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率		—	%
設備・システム当たりの想定省エネ率		9.9	%
導入事例における費用対効果（年間）		7.8	kl/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）		2,000,000,000	円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用		30,000,000	円/年

製品・システムの概要

<p>カーボンニュートラル推進型内部循環流動床式の燃焼炉及びボイラ（ICFB®内部循環流動床ボイラ※）</p> <p>本製品・システムは、比較的規模が大きい「エネルギー多消費型産業」向けの燃料転換だけでなく、地域周辺で調達できる木質系バイオマスやRPF等の非化石燃料をその地域内で有効活用する 持続可能な中小規模の「地産地消型」熱供給発電設備であり、カーボンニュートラルを推進させる内部循環流動床式の燃焼炉及びボイラである。</p> <p>※ICFBは荏原環境プラント株式会社の日本国内における登録商標です。</p> <p>「中小規模の地産地消型熱供給発電」用ボイラ ボイラ水管の「モジュール化」 ICFBは、非化石燃料の燃焼熱で加熱された流動砂を媒体として、常に高効率でエネルギーを回収する熱回収用「層内管」はユニット化しており、容易に取外し/交換ができるので、施設規模の要望に応じた最適な設備機器を設計できる。</p> <p>「モジュール化」によるスケールアップ/ダウンの容易化 「層内管」をモジュール化することで、伝熱面積（ボイラ水管の直径、長さ、本数、モジュール数）を増減及び流動砂の流動化速度を増減できるので、設備機器のスケールアップ/スケールダウンの容易化が図れ、熱回収の応答の高速化も図れる。</p> <p>本設備は蒸発量20t/hの設備をベースとしていますが、事業者様の条件、ご要望に合わせ最適な提案をします。なお、「1式当たりの想定導入価格等」は、導入をご検討される事業者様の蒸気量（蒸気条件含む）、発電要求、諸条件、供給範囲、建設予定地、導入時期によって変動致します。また、導入価格には土木建築工事費等は含んでおりません。</p>

先進性についての説明

<p>非化石エネルギーへの燃料転換に係るカーボンニュートラル推進型内部循環流動床式の燃焼炉及びボイラ（ICFB®内部循環流動床ボイラ）の先進性は以下の点である。</p> <ul style="list-style-type: none">・耐腐食耐摩耗に優れた溶射ボイラ水管による熱伝達係数の向上・燃焼効率の改善（空気比の低減）とそれに伴う消費動力の削減・デマンド設定に対する即時応答性とそれに伴う燃料損失の低減 <p>これらの特長を活かし、地域内で木質系バイオマスやRPF等の非化石燃料をその地域で持続可能なエネルギーシステムを構築できる。中小規模の地産地消型の熱供給発電用ボイラを通して、カーボンニュートラル実現に寄与する。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図

ICFBの特長

- ①バイオマス燃料低減
層内管の表面改質化による
ボイラ効率の向上
- ②消費動力低減
空気投入方法の改善(空気
比の低減)による燃焼効率の
向上
- ③熱・蒸気の損失・過剰供給回避
バイオマス燃料量や層内管
近傍への空気量を変化させ
ボイラ水管の吸熱量を制御
することにより需要(蒸気や
電力)への短時間負荷追従
制御を実現、需要側蒸気量・
発電量の過不足を回避

製品・システムの概要・イメージ図

導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	製造業、製造業と農業等との地域連携	対象設備・プロセス	ボイラ設備、製造設備・農業施設等への熱電併給
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div>			